

使用前にこの説明書を必ずお読みください。
また、必要な時に読めるよう保管してください。

みずむし・たむし用薬

アウトC液

第2類医薬品

みずむし、いんきんたむし、ぜにたむしは、白癬菌というかびの一種が皮膚の角質層に寄生することによっておきる疾患です。かゆみ、痛みをとまなうことが多く湿潤、小水疱、ただれ、皮膚の剥離などの症状をしめします。高い温度と湿気とでむれたりしたとき症状が悪化する場合が多く治りにくい皮膚病です。アウトC液は白癬菌などの真菌に対し強い抗菌作用を有するクロトリマゾールにクロタミトン（鎮痒作用）、リドカイン（局所麻酔作用）、グリチルレチン酸（抗炎症作用）を配合したみずむし、たむしの薬です。

〈特 長〉

- 主成分のクロトリマゾールは白癬菌に対して強い抗菌作用をもっています。
- 鎮痒作用を持つクロタミトンの働きによりかゆみを抑えるとともに局所麻酔剤リドカイン及び抗炎症剤グリチルレチン酸により痛みと炎症を抑えます。



使用上の注意



してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用が起こりやすくなる）

次の部位には使用しないこと

- (1) 目や目の周囲、粘膜（例えば、口腔、鼻腔、膣等）、陰のう、外陰部等。
- (2) 湿疹。
- (3) 湿潤、ただれ、亀裂や外傷のひどい患部。



相談すること

1. 次の人は使用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

- (1) 医師の治療を受けている人。
- (2) 乳幼児。
- (3) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (4) 患部が顔面または広範囲の人。
- (5) 患部が化膿している人。
- (6) 「湿疹」か「みずむし、いんきんたむし、ぜにたむし」かがはっきりしない人。（陰のうにかゆみ・ただれ等の症状がある場合は、湿疹等他の原因による場合が多い。）

2. 使用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ、かぶれ、はれ、刺激感、熱感、疼痛、ただれ、乾燥感、ヒリヒリ感

3. 2週間位使用しても症状が良くならない場合は使用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

〈効能・効果〉

みずむし、いんきんたむし、ぜにたむし

〈用法・用量〉

通常1日1～数回適量を患部に塗布する。なお、症状により適宜増減する。

〈用法及び用量に関連する注意〉

- (1) 患部やその周囲が汚れたまま使用しないこと。
- (2) 目に入らないように注意すること。万一、目に入った場合には、すぐに水又はぬるま湯で洗い、直ちに眼科医の診療を受けること。
- (3) 小児に使用させる場合には、保護者の指導監督のもとに使用させること。
- (4) 外用にのみ使用すること。
- (5) 本剤はアルコールを含んでいますので、しみることがあります。

＜液容器の使い方＞



- 患部やその周囲を清潔にして塗布してください。
- 使用前に、容器の先端を上に向けて、手の指で押して中の空気を抜いてください。(暑い時期、温度の高い場所に置かれた場合や薬液が少なくなった場合などに内圧が高まり、薬液が多く出ることがありますので、これを防ぐためです。)
- 患部に使用する時は容器を下向き又は斜めにして、患部に先端を軽く押しあてて塗布してください。(先端を患部からはなすと、薬液がでなくなります。)

＜成分・分量＞ (100mL中)

成 分	含量	はたらき
クロトリマゾール	1.00 g	白癬菌を殺菌します。
クロタミトン	5.00 g	患部のかゆみをしずめます。
リドカイン	2.00 g	患部のかゆみ、痛みをしずめます。
グリチルレチン酸	0.50 g	患部の炎症を改善します。

添加物として、プロピレングリコール、エタノールを含有します。

＜保管及び取扱上の注意＞

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に密栓して保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと。(誤用の原因になったり品質が変わる。)
- (4) 火気に近づけないこと。
- (5) アルコールなどにとけるおそれのあるもの(めがねのわく、塗装家具など)にはつかないようにすること。
- (6) 火の中に入れないこと。
- (7) 配置期限(ケースに記載)を過ぎた製品は使用しないこと。なお、配置期限内であっても開封後は品質保持の点からなるべく早く使用すること。

＜水虫治療のポイント＞

白癬菌の寄生は、症状の現れている範囲より広がっている場合が多いので、薬剤は広めに塗布しましょう。又、次のことに留意してください。

①根気よく継続治療するかゆみがなくなっても、すっかり治るまで根気よく治療を続け再発を防ぎましょう。 	②患部を乾燥させる通気性の悪い靴下やゴム長靴は好ましくありません。むれを防ぎ、乾燥に心がけましょう。 
③衣類も清潔にする靴や靴下、スリッパ、浴室のマットも清潔に保ち感染に注意しましょう。 	④患部をよく洗って清潔にする白癬菌増殖の抑制や二次感染を防ぐため患部をよく洗い清潔に保ちましょう。 

本品についてのお問い合わせは配置販売業者又は下記にお願い致します。
日本ゼトック株式会社

電話番号 0120-886-440

受付時間 9:00～12:00、13:00～17:00

(ただし、土、日、祝日を除きます。)

製造販売元

日本ゼトック株式会社

東京都新宿区西新宿 1-26-2